

大村市上下水道事業経営戦略2021

前期計画(令和3年度~令和7年度)の実施状況について(報告)

令和6年9月

大村市上下水道局

1 事業計画の実施状況について

(1) はじめに

大村市上下水道局は、利用者の皆様から信頼される公営企業としての責務を遂行し、安定的な経営を確保するため、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする「大村市上下水道事業経営戦略2021前期計画」（以下「2021前期計画」という。）に基づき、健全な事業運営に努めています。

2021前期計画では、毎年、実施状況を取りまとめることとしており、本報告は令和5年度の取り組みについて報告するものです。

(2) 事業計画の実施状況

2021前期計画に掲げた事業計画については、水道事業及び下水道事業を併せた38事業のうち35事業は実施中、3事業は検討等を行っております。

I 水道事業

事業計画の実施状況の一覧表を5ページに、詳細を6ページから16ページにかけて記載しています。

2(2)「①耐震化の推進」の管路の耐震化率については19.4%で、目標より1.3ポイント上回っております。また、坂口浄水場耐震補強工事を引き続き実施しております。

4(1)「①地下水源の適正管理」について、富の原第1水源深井戸改修工事を実施し、井戸の揚水量の確保に努めました。「②漏水調査及び修繕の実施」については、水道管路からの漏水を把握するため463kmの管路音聴調査を行い、漏水箇所342箇所の修繕を実施し漏水防止に努め、有収率は87.8%で目標より1.2ポイント下回っております。

II 下水道事業

事業計画の実施状況の一覧表を19ページに、詳細を20ページから29ページにかけて記載しています。

1(1)「①未整備区域の下水道整備促進」の汚水整備率は81.0%で、目標より9.5ポイント下回っております。松原一丁目污水管布設工事(その2)等を実施し、污水管1,564mを整備しました。

2(1)「①管路の計画的更新」については、岩松・東浦污水幹線管路更生工事等を実施しております。

5(2)「①ストックマネジメント計画の策定(管路、ポンプ場)」については、老朽化が進む下水道施設の効率的で持続可能な管理のために、大村処理区管路施設ストックマネジメント実施計画の策定等を行いました。

(3) 2021前期計画財政収支状況

I. 水道事業 (P14)

収益的収支の収入が2021前期計画に比べ0.5%減となりました。

費用については、動力費等の減により2021前期計画に比べ1.5%減となりました。この結果、単年度純利益が2021前期計画に比べ4.5%増の3億9,310万3千円となりました。

資本的収支における不足額は、2021前期計画に比べ0.2%減となり、補填財源残高は2021前期計画に比べ36.6%増の13億717万7千円となりました。

また、企業債残高は今年度末で98億1397万6千円となっています。

II. 下水道事業 (P25)

収益的収支の収入については2021前期計画に比べ3.9%の増となっており、使用料収入が2021前期計画に比べ2.0%増加したことによるものです。

費用については、修繕費等の減等により2021前期計画に比べ8.0%の減となりました。この結果、単年度純利益が5億4,656万円(130.7%増)となりました。

資本的収支における不足額は、2021前期計画に比べ6.4%増となり、補填財源残高は2021前期計画に比べ63.5%増の23億1,021万8千円となりました。

また、企業債残高については今年度末で103億8,902万3千円となっています。

I 水道事業

施策の実施状況について(水道事業)

1 安定的な水源を確保し、安全でおいしい水を供給します。

(1)水道水源の確保

施策	内容	計画目標	実施状況
①新規水源開発及び既存水源の保持			
安定した水道水の供給を行うため、既存水源の改修を行うとともに、新たな水源開発に努めます。			
	水源余裕率 R7目標値:32.0% 【事業予定期間等】 期間 R3～R7 事業費 69百万円	R3	○実施中 水源余裕率※ 【目標値】 28.0% 【実績値】 26.5% 水源電気探査 2箇所 (事業費 2,863千円)
		R4	○実施中 水源余裕率※ 【目標値】 29.0% 【実績値】 10.9% 水源電気探査 2箇所 (事業費 5,830千円)
		R5	○実施中 水源余裕率※ 【目標値】 30.0% 【実績値】 27.8% 水源電気探査 2箇所、試錐工事 1箇所 (事業費 39,896千円)
②少雨対策への取組			
少雨時における水の安定供給を図るため、ダム管理者である長崎県を中心として関係機関と連携し少雨対策に取り組めます。			
	【事業予定期間等】 期間 R3～R7	R3	△検討等を行った 4月から9月末までは平年を上回る2072mmの降水量があったが、10月から3月末は364mmと少雨傾向となったことから渇水連絡調整会議を3月17日に開催し対策を検討した。
		R4	△検討等を行った 年間で1962mmの降水量で、特に10月から12月末までの少雨の影響で1月6日現在で萱瀬ダムの貯水率が57.6%となった。少雨対策会議を1月10日に開催し対策を検討したが、その後まとまった降雨もあり2月22日に貯水率は100%に回復した。
		R5	△検討等を行った 4月から9月までは平年並みの1600mmの降水量があったが、10月から1月までが少雨となり郡川渇水連絡調整会議を1月17日に開催した。その後、萱瀬ダムの貯水率が50%を下回ったことから1月23日10:00より萱瀬ダムの30%取水制限を実施しダム貯水量を減らさない対応を行った。 2月にまとまった降雨があり、貯水率が100%に戻ったことから関係機関と協議のうえ2月28日に取水制限を解除した。

(2)災害対策の強化

施策	内容	計画目標	実施状況
①耐震化の推進			
<p>災害時において給水が特に必要な重要施設に供給する管路などに優先順位をつけ、実現性の高い耐震化計画を策定し、計画的に耐震化を図っていきます。 また、策定した耐震化計画に基づき坂口浄水場の耐震化を図っていきます。</p>			
<p>管路の耐震化率 R7目標値:20.0% 【事業予定期間等】 期間 R3～R7 事業費 468百万円 (※管渠耐震化は管路更新に計上)</p>		R3	<p>○実施中 管路の耐震化率 【目標値】 16.0% 【実績値】 16.6% 令和3年度坂口浄水場耐震補強工事ほか (事業費 7,635千円) (翌年度繰越含む)</p>
		R4	<p>○実施中 管路の耐震化率 【目標値】 17.1% 【実績値】 18.1% 令和4年度坂口浄水場耐震補強工事 (活性炭注入室、管理棟本館) (事業費 51,854千円) ※R4～R5債務負担行為(R4年度分)</p>
		R5	<p>○実施中 管路の耐震化率 【目標値】 18.1% 【実績値】 19.4% 令和4年度坂口浄水場耐震補強工事 (活性炭注入室、管理棟本館) (事業費 86,010千円) ※R4～R5債務負担行為(R5年度分)</p>
②浸水対策の推進 ★新規			
<p>令和2年7月に発生した豪雨において、今富水源が浸水し停止したことから、水道施設の浸水被害等のリスク評価を行い、必要な浸水対策を推進していきます。</p>			
<p>【事業予定期間等】 期間 R3～R7</p>		R3	<p>○実施中 今富水源更新概略設計業務委託 (事業費 8,701千円)</p>
		R4	<p>○実施中 今富水源更新詳細設計業務委託 (事業費 27,838千円) (翌年度繰越含む)</p>
		R5	<p>○実施中 今富水源更新工事に伴う用地取得 (事業費 6,300千円) (翌年度繰越含む)</p>

3 環境のことを考えた事業運営に努めます。

(1)環境対策

施策	内容	計画目標	実施状況
①省電力機器の導入	水道施設における動力の電気使用量が大きいため、施設・設備の更新時に省エネルギーの高効率機器やポンプのインバータ制御を導入し、省エネルギー化に努めます。	【事業予定期間等】 期間 R3～R7	<p>R3 ○実施中 設備の更新に合わせて坂口浄水場の水処理機械であるフロキュレーター(1系-1)の駆動装置にインバータ制御、モーターは省電力タイプを導入し省エネルギー化に努めた。</p> <p>R4 ○実施中 設備の更新に合わせて坂口浄水場の水処理機械であるフロキュレーター(1系-2)の駆動装置にインバータ制御、モーターは省電力タイプを導入し省エネルギー化に努めた。</p> <p>R5 ○実施中 設備の更新に合わせて富の原第1水源の深井戸ポンプなどダウンサイジングを図り省エネルギー化に努めた。</p>

4 適正な業務運営と維持管理に努めます。

(1)適切な維持管理

施策	内容	計画目標	実施状況
①地下水源の適正管理			
経年劣化した水中ポンプの更新やスクリーンの目詰まりの解消などについて、井戸改修計画の策定を検討するなど計画的かつ効率的な維持管理の実施に努めます。			
	井戸調査改修 R7目標値:5箇所 (5年間累計) 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 33百万円	R3	○実施中 井戸調査改修 【目標値】1箇所 【実績値】1箇所 今富第2水源深井戸改修工事 (事業費 6,215千円)
		R4	○実施中 井戸調査改修 【目標値】1箇所 【実績値】1箇所 黒丸第1水源深井戸改修工事 (事業費 5,380千円)
		R5	○実施中 井戸調査改修 【目標値】1箇所 【実績値】1箇所 富の原第1水源深井戸改修工事 (事業費 6,454千円)
②漏水調査及び修繕の実施			
有収率向上と水資源の有効利用による施設の効率性の観点から、漏水調査と管路更新に努めていきます。			
	有収率 R7目標値:90.0% 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 438百万円	R3	○実施中 有収率 【目標値】有収率 88.0% 【実績値】有収率 89.3% 上水道区域:配水管等修繕工事 320箇所 旧簡易水道区域:配水管修繕工事 8箇所 路面音聴調査 360km 戸別音聴調査 35,700戸 (事業費 100,045千円)
		R4	○実施中 有収率 【目標値】有収率 89.0% 【実績値】有収率 88.6% 上水道区域:配水管等修繕工事 297箇所 旧簡易水道区域:配水管修繕工事 6箇所 路面音聴調査 540km 戸別音聴調査 33,722戸 (事業費 100,939千円)
		R5	○実施中 有収率 【目標値】有収率 89.0% 【実績値】有収率 87.8% 上水道区域:配水管等修繕工事 321箇所 旧簡易水道区域:配水管修繕工事 21箇所 路面音聴調査 463km 戸別音聴調査 53,407戸 (事業費 92,081千円)

(2)事業の効率化

施策	内容	計画目標	実施状況
①最適運営形態の検討			
<p>効率的な事業運営ができる業務に関して包括的な民間委託を検討します。 また、料金徴収等業務では、高い収納率を維持するため、委託業者との連携を強化します。</p>			
	収納率 R7目標値:99.7% 【事業予定期間等】 期間 R3~R7	R3	○実施中 収納率 【目標値】 99.3% 【実績値】 97.83% 令和3年4月からスマホ決済を開始
		R4	○実施中 収納率 【目標値】 99.3% 【実績値】 97.77% スマホ決済開始済
		R5	○実施中 収納率 【目標値】 99.3% 【実績値】 98.35% スマホ決済開始済

5 サービスの向上と経営の安定に努めます。

(1)市民サービス向上

施策	内容	計画目標	実施状況
①積極的な情報発信			
HPや広報紙などを活用し、事業運営、水質等の情報、災害時の被災状況など必要な情報を発信していきます。また、施設見学や児童対象のパンフレット配布など、水道事業に対する理解と信頼性の向上に努めます。			
	広報掲載回数 4回/年 ホームページアクセス件数 R7目標値:7,600件 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 6百万円	R3	○実施中 広報掲載回数 【目標値】 4回 【実績値】 4回 ホームページアクセス件数 【目標値】 7,200件 【実績値】 15,881件 大村市上下水道局Webサイト更新ほか（事業費 970千円）
		R4	○実施中 広報掲載回数 【目標値】 4回 【実績値】 4回 ホームページアクセス件数 【目標値】 7,300件 【実績値】 69,666件 大村市上下水道局Webサイト更新ほか（事業費 910千円）
		R5	○実施中 広報掲載回数 【目標値】 4回 【実績値】 4回 ホームページアクセス件数 【目標値】 7,400件 【実績値】 30,885件 大村市上下水道局Webサイト更新ほか（事業費 915千円）

(2)経営基盤の強化

施策	内容	計画目標	実施状況
①アセットマネジメントの適正な運用			
水道施設の計画的更新のため、中長期的な更新需要と財政収支の見通しを立てるアセットマネジメントの定期的な見直しを図り、将来の事業環境等の変動要素を考慮したより詳細な更新需要と財政収支の計画を立てます。			
	アセットマネジメントの更新 1回/年 【事業予定期間等】 期間 R3~R7	R3	○実施中 アセットマネジメントの更新 【目標値】 1回 【実績値】 1回
		R4	○実施中 アセットマネジメントの更新 【目標値】 1回 【実績値】 1回
		R5	○実施中 アセットマネジメントの更新 【目標値】 1回 【実績値】 1回

②更新需要の増大に備えた資金の確保

職員の不断のコスト意識と節減努力、維持管理コストや建設コストの低減の検討、企業債残高水準の適正管理、投資計画と財政計画の調和を図りながら料金の適正化などについて検討します。

企業債残高 R7目標値:8,767百万円 補填財源残高 R7目標値:1,007百万円 【事業予定期間等】 期間 R3~R7	R3	○実施中		
		企業債残高	【目標値】 10,617百万円	【実績値】 10,305百万円
		補填財源残高	【目標値】 952百万円	【実績値】 1,259百万円
	R4	○実施中		
		企業債残高	【目標値】 10,269百万円	【実績値】 10,099百万円
		補填財源残高	【目標値】 957百万円	【実績値】 1,336百万円
	R5	○実施中		
		企業債残高	【目標値】 9,845百万円	【実績値】 9,813百万円
		補填財源残高	【目標値】 957百万円	【実績値】 1,307百万円

③技術力の継承・向上

「大村市上下水道局人材育成基本方針」に基づき各種研修へ積極的に参加させ職員の技術力向上を図るとともに、職者の再任用制度を活用し技術力の継承に努めます。

各種研修等参加人数 R7目標値:27人/年間 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 13百万円	R3	○実施中		
		各種研修等参加人数	【目標値】 27人	【実績値】 5人
			2021年度エネルギー管理講習 ほか（事業費 319千円）	
	R4	○実施中		
		各種研修等参加人数	【目標値】 27人	【実績値】 16人
			令和4年度 紫外線処理設備研修会 ほか（事業費 513千円）	
	R5	○実施中		
		各種研修等参加人数	【目標値】 27人	【実績値】 22人
			令和5年度 配管設計講習会 ほか（事業費 1,253千円）	

④新技術の研究	
スマートメーターによる自動検針など、新技術を導入することによる効率的な事業運営や生産性の向上への可能性について、他事業体の事例等を参考に研究していきます。	
【事業予定期間等】 期間 R3～R7	R3 △検討等を行った
	R4 △検討等を行った
	R5 △検討等を行った
⑤広域化の検討 ★新規	
広域化については、地形的要因から他事業体との経営統合は困難であると思われませんが、県主催の検討会に参加し情報収集を行うなど、広域化の可能性について検討していきます。	
【事業予定期間等】 期間 R3～R7	R3 △検討等を行った 水道事業の広域連携に関する検討会へ参加し、広域化への検討を行った。
	R4 △検討等を行った 長崎県水道広域化推進プラン(R5.3策定)のため、県との協議打合せを実施した。
	R5 △検討等を行った 諫早市と大村市とで共同調達・共同委託について協議(県指定の共通テーマ)を実施した。長崎県からロードマップの作製について指示があった。

計画財政収支状況

①収益的収支(税抜き)

(単位:千円)

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
		計画との比較		計画との比較		計画との比較		
収益合計 A	(2,210,114)	△ 1.3%	(2,278,939)	4.2%	(2,274,615)	△ 0.5%		
	2,238,420		2,187,847		2,286,270		2,281,786	2,276,147
営業収益	(1,954,109)	△ 1.2%	(1,812,700)	△ 7.5%	(1,980,100)	△ 4.0%		
	1,978,148		1,959,114		2,063,289		2,064,794	2,064,247
料金収入	(1,949,115)	△ 0.7%	(1,775,010)	△ 8.7%	(1,936,303)	△ 5.5%		
	1,961,878		1,944,982		2,049,157		2,050,662	2,050,115
一般会計負担金	(1,085)	△ 99.7%	(24)	△ 98.3%	(722)	△ 49.4%		
	362,800		1,426		1,426		1,426	1,426
その他	(3,909)	△ 71.7%	(37,666)	196.4%	(43,075)	239.0%		
	13,801		12,706		12,706		12,706	12,706
営業外収益	(255,829)	△ 1.7%	(466,239)	104.5%	(294,502)	32.5%		
	260,269		227,959		222,207		216,218	211,126
一般会計補助金	(91,336)	0.0%	(291,320)	342.0%	(112,416)	105.3%		
	91,334		65,905		54,756		45,342	37,397
長期前受金戻入	(155,627)	△ 0.6%	(165,476)	11.4%	(171,678)	11.6%		
	156,594		148,479		153,876		157,301	160,154
その他	(8,866)	△ 28.2%	(9,443)	△ 30.4%	(10,408)	△ 23.3%		
	12,341		13,575		13,575		13,575	13,575
特別利益	(176)	5766.7%	(0)	△ 100.0%	(13)	△ 98.3%		
	3		774		774		774	774
費用合計 B	(1,832,152)	△ 5.3%	(1,905,916)	△ 2.4%	(1,881,512)	△ 1.5%		
	1,934,770		1,951,832		1,910,119		1,892,853	1,884,167
営業費用	(1,656,178)	△ 4.7%	(1,717,871)	△ 4.2%	(1,727,074)	△ 2.3%		
	1,737,990		1,793,333		1,767,500		1,765,971	1,772,691
職員給与費	(170,795)	△ 3.5%	(170,611)	△ 4.6%	(174,930)	△ 3.0%		
	177,022		178,909		180,287		181,677	183,076
経費	(688,278)	△ 9.0%	(738,903)	△ 7.5%	(765,388)	△ 3.9%		
	755,962		799,043		796,298		794,725	790,313
減価償却費	(797,105)	△ 1.0%	(808,357)	△ 0.9%	(786,756)	△ 0.5%		
	805,006		815,381		790,915		789,569	799,302
営業外費用	(168,289)	△ 8.8%	(175,655)	12.7%	(152,263)	8.8%		
	184,473		155,810		139,929		124,193	108,786
支払利息	(167,890)	△ 3.5%	(154,907)	0.0%	(146,726)	5.6%		
	174,026		154,882		139,001		123,265	107,858
その他	(399)	△ 96.2%	(20,748)	2137.0%	(5,537)	497.0%		
	10,447		928		928		928	928
特別損失	(7,685)	△ 37.6%	(12,390)	360.6%	(2,175)	△ 19.1%		
	12,307		2,690		2,690		2,690	2,690
純損益(△損失)	(377,962)	24.5%	(373,023)	58.1%	(393,103)	4.5%		
	303,650		236,015		376,151		388,933	391,980

②資本的収支(税込み)

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
		計画との比較		計画との比較		計画との比較		
資本的収入 C	(875,016)	△ 28.0%	(877,143)	15.4%	(958,589)	43.3%		
	1,215,858		760,382		669,013		579,773	494,180
企業債	(680,400)	△ 30.1%	(690,200)	28.5%	(684,500)	49.0%		
	973,200		537,133		459,308		369,360	287,759
一般会計負担金	(3,716)	△ 56.5%	(10,389)	96.9%	(13,005)	146.5%		
	8,540		5,276		5,276		5,276	5,276
一般会計補助金	(115,864)	0.0%	(119,218)	0.1%	(121,226)	0.1%		
	115,866		119,123		121,130		121,838	117,846
工事負担金	(27,526)	△ 60.5%	(13,644)	△ 72.9%	(67,302)	93.3%		
	69,772		50,372		34,821		34,821	34,821
その他	(47,510)	△ 2.0%	(43,692)	△ 9.9%	(72,556)	49.7%		
	48,480		48,478		48,478		48,478	48,478
資本的支出 D	(1,790,699)	△ 16.2%	(2,116,020)	13.6%	(2,089,131)	16.0%		
	2,136,537		1,862,108		1,801,641		1,700,761	1,573,932
建設改良費	(922,271)	△ 27.3%	(1,230,517)	24.7%	(1,206,106)	29.9%		
	1,268,107		986,605		928,616		820,800	719,398
企業債償還金	(868,428)	0.0%	(885,503)	0.0%	(883,025)	0.0%		
	868,430		885,503		883,025		879,961	854,534
不足額 (C-D)	(915,683)	△ 0.5%	(1,238,877)	12.4%	(1,130,542)	△ 0.2%		
	920,679		1,101,726		1,132,628		1,120,988	1,079,752
補填財源残高	(1,258,887)	32.2%	(1,335,755)	39.5%	(1,307,177)	36.6%		
	952,384		957,216		956,881		963,178	1,007,140
企業債残高	(10,305,303)	△ 2.9%	(10,099,201)	△ 1.6%	(9,813,976)	△ 0.3%		
	10,616,610		10,268,240		9,844,523		9,333,922	8,767,147

※上段()書きは決算値、下段は、計画値

※資本的収支の実績額は、前年度からの繰越額を含まず、翌年度繰越額は含める。

※補填財源の決算値は建設改良積立金など使途が特定されている資金を含む。

Ⅱ 下水道事業

大村市下水道事業経営戦略2021 前期計画(令和3年度～令和7年度)

◎ 実施完了 ○ 実施中 △ 検討等を行った × 実施できなかつた - 該当なし

施策の方向性・基本施策・施策一覧

施策の方向性 (基本目標)	基本施策	施策	事業費(百万円) (5か年)	進捗状況					備考
				R3	R4	R5	R6	R7	
1 快適な生活環境の保全	(1) 生活排水対策の推進	①未整備区域の下水道整備促進	1,007	○	○	○			
		②水洗化の促進		○	○	○			
2 適正な施設更新や危機 管理の強化	(1) 下水道施設の更新	①管路の計画的更新	114	○	○	○			
		②設備の計画的更新	2,397	○	○	○			★新規
	(2) 災害対策の強化	①下水道施設の耐震化	61	○	○	○			
		②浸水対策の推進	958	○	○	○			
	(3) 危機管理対策の強化	①BCPの運用		○	○	○			
3 環境に配慮した事業運 営	(1) 環境対策	①下水道資源の有効活用		○	○	○			
		②高度処理施設の整備促進	771	○	○	○			
4 適正な業務運営と維持 管理	(1) 適正な維持管理	①下水道台帳管理システム活用による維持管理の効率化	10	○	○	○			
		②不明水調査及び修繕の実施	57.5	○	○	○			
5 サービスの向上と経営の 安定	(2) 事業の効率化	①最適運営形態の検討		○	○	○			
		①積極的な情報発信	5.4	○	○	○			
	(1) 市民サービスの向上	①ストックマネジメント計画の策定(管路、ポンプ場)	176.5	○	○	○			
		②更新需要の増大に備えた資金の確保		○	○	○			
		③技術力の継承・向上	13.5	○	○	○			
(2) 経営基盤の強化	④汚水処理の最適化	211.7	○	○	○				
	⑤広域化の検討		○	○	○				

◎	0件	0件	0件	0件	
○	18件	18件	18件	18件	
△	0件	0件	0件	0件	
×	0件	0件	0件	0件	
-	0件	0件	0件	0件	

施策の実施状況について(下水道事業)

1 快適な生活環境の保全

(1)生活排水対策の推進

施策	内容	計画目標	実施状況
①未整備区域の下水道整備促進			
<p>市民の快適な生活環境を実現するために、未普及地域で污水管渠の整備を進め、新たな開発の計画地区については、計画的に污水管渠の面整備を進めます。</p>			
	<p>污水整備率 R7目標値:91.4% 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 1,007百万円</p>	R3	<p>○実施中 污水整備率 【目標値】 89.7% 【実績値】 80.7%</p> <p>交付金事業:松原一丁目污水管布設工事ほか 単独事業:公道・私道污水管工事、取付管工事、補償工事 (事業費 298,734千円) (翌年度繰越含む)</p>
		R4	<p>○実施中 污水整備率 【目標値】 90.1% 【実績値】 80.9%</p> <p>交付金事業:岩松町污水管布設工事ほか 単独事業:公道・私道污水管工事、取付管工事、補償工事 (事業費 229,505千円) (翌年度繰越含む)</p>
		R5	<p>○実施中 污水整備率 【目標値】 90.5% 【実績値】 81.0%</p> <p>交付金事業:松原一丁目污水管布設工事(その2) 単独事業:公道・私道污水管工事、取付管工事、補償工事 (事業費 355,084千円) (翌年度繰越含む)</p>
②水洗化の促進			
<p>水洗化を促進するために、下水道の日(9月10日)に合わせPR期間を設定し、計画的に未水洗家屋への戸別訪問を行います。</p>			
	<p>水洗化率 R7目標値:98.5% 【事業予定期間等】 期間 R3~R7</p>	R3	<p>○実施中 水洗化率 【目標値】 97.9% 【実績値】水洗化率 98.1%</p> <p>令和3年9月10日に下水道工務課職員にて未水洗化家屋の93家屋についてチラシを配布(コロナ対策のため、接触を避けチラシのみ配布)</p>
		R4	<p>○実施中 水洗化率 【目標値】 98.1% 【実績値】水洗化率 98.2%</p> <p>令和4年9月28日・10月5日に下水道工務課職員にて未水洗化家屋の67家屋についてチラシを配布(コロナ対策のため、接触を避けチラシのみ配布)</p>
		R5	<p>○実施中 水洗化率 【目標値】 98.2% 【実績値】水洗化率 98.4%</p> <p>令和5年10月26日~11月30日に下水道工務課職員にて未水洗化家屋の58家屋についてチラシを配布(不在の場合ポストへの投函)</p>

2 適正な施設更新や危機管理の強化

(1) 下水道施設の更新

施策	内容	計画目標	実施状況
① 管路の計画的更新			
<p>下水道施設全体の点検・調査等を行い、客観的な評価と長期的な施設の状態の予測から、点検・調査・修繕・改築を一体的に捉えたうえで、ストックマネジメント計画を策定し、計画的な更新を行います。</p>			
	<p>ストックマネジメント計画策定 (管路) R5目標値:計画策定 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 114百万円</p>	R3	<p>○実施中 交付金事業:マンホール蓋取替工事ほか (事業費 20,470千円)(翌年度繰越含む)</p>
		R4	<p>○実施中 交付金事業:マンホール蓋取替工事ほか (事業費 415千円)</p>
		R5	<p>○実施中 交付金事業:マンホール蓋取替工事ほか (事業費 13,823千円)</p>
② 設備の計画的更新			
		★新規	
<p>大村浄水管理センターや各ポンプ場で増加する耐用年数を経過した老朽化設備について、ストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築更新を行います。</p>			
	<p>【事業予定期間等】 R3~R7 事業費 2,397百万円</p>	R3	<p>○実施中 交付金事業:大村浄水管理センター5系最終沈殿池掻寄機ほか改築工事ほか (事業費 134,169千円)(翌年度繰越含む)</p>
		R4	<p>○実施中 交付金事業:大村浄水管理センター汚泥移送(電気・機械)設備改築工事ほか (事業費 764,694千円)(翌年度繰越含む)</p>
		R5	<p>○実施中 交付金事業:大村浄水管理センターストックマネジメント変更計画策定業務委託 ※ストックマネジメント計画についての事業費については、【5-(2)-1】にて計上</p>

(2) 災害対策の強化

施策	内容	計画目標	実施状況
① 下水道施設の耐震化			
大村浄水管理センターの耐震診断を行い、診断結果に基づき大規模災害が発生した際にも業務継続ができるように施設の耐震化を進めます。			
	施設耐震化率 R7目標値:42.9% 【事業予定期間等】 R3~R7 事業費 61百万円	R3	○実施中 施設耐震化率 【目標値】 28.6% 【実績値】 28.6% 交付金事業:大村浄水管理センター水処理施設(沈砂池)耐震補強 実施設計業務委託 (事業費 26,007千円)(翌年度繰越含む)
		R4	○実施中 施設耐震化率 【目標値】 28.6% 【実績値】 28.6% 事業なし
		R5	○実施中 施設耐震化率 【目標値】 28.6% 【実績値】 28.6% 大村ポンプ場ほか耐震診断調査業務委託 (事業費 36,000千円)(翌年度繰越含む)
② 浸水対策の推進			
浸水リスクが高い箇所を優先して雨水管路の整備を進めます。 また、関係課や関係機関と連携を図り、効率的な雨水管路の整備を進めます。			
	雨水整備率 R7目標値:59.5% 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 958百万円	R3	○実施中 雨水整備率 【目標値】 57.0% 【実績値】 56.0% 交付金事業:竹松本町雨水管布設工事ほか 単独事業:雨水工事 (事業費 252,336千円)(翌年度繰越含む)
		R4	○実施中 雨水整備率 【目標値】 57.7% 【実績値】 56.0% 交付金事業:沖田町雨水管布設工事(その2)ほか 単独事業:雨水工事 (事業費 270,029千円)(翌年度繰越含む)
		R5	○実施中 雨水整備率 【目標値】 58.3% 【実績値】 56.0% 交付金事業:植松1丁目雨水管布設工事ほか 単独事業:雨水工事 (事業費 152,926千円)(翌年度繰越含む)

4 適正な業務運営と維持管理

(1) 適正な維持管理

施策	内容	計画目標	実施状況
① 下水道施設台帳システム活用による維持管理の効率化			
<p>平成27年度に導入した下水道台帳管理システムを活用し、点検結果、修繕履歴、市民からの通報記録などを蓄積、分析することで、効率的な維持管理や施設更新を行います。 また、下水道台帳閲覧システムによる窓口サービスの向上を図ります。</p>			
	データ更新率 R7目標値:1,350件 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 10百万円	R3	○実施中 データ更新率 【目標値】1,350件 【実績値】 1,662件 単独事業:下水道台帳管理システムデータ更新業務委託ほか (事業費 3,740千円)
		R4	○実施中 データ更新率 【目標値】1,350件 【実績値】 1,594件 単独事業:下水道台帳管理システム機器ほか (事業費 6,237千円)(翌年度繰越含む)
		R5	○実施中 データ更新率 【目標値】1,350件 【実績値】 1,690件 単独事業:大村市下水道台帳管理システム保守管理業務委託 (事業費 550千円)
② 不明水調査及び修繕の実施			
<p>不明水の増加は、下水道施設への負荷の増大と下水処理費用の増加、道路陥没の原因になることから、管路内調査や修繕など不明水対策を実施します。</p>			
	止水箇所数 目標値:毎年160か所 【事業予定期間等】 期間 R3~R7 事業費 57.5百万円	R3	○実施中 止水箇所数 【目標値】 160箇所 【実績値】 109箇所 単独事業:汚水マンホール止水工 (事業費 10,010千円)
		R4	○実施中 止水箇所数 【目標値】 160箇所 【実績値】 6箇所 単独事業:汚水マンホール止水工 (事業費 836千円)
		R5	○実施中 止水箇所数 【目標値】 160箇所 【実績値】 4箇所 単独事業:汚水マンホール止水工 (事業費 1,974千円)

(2) 事業の効率化

施策	内容	計画目標	実施状況
① 最適運営形態の検討			
<p>民間のノウハウを活かし、効率的な事業運営ができる項目に関して検討します。 また、料金徴収等業務では、高い収納率を維持するため、委託業者との連携を強化します。</p>			
収納率 R7目標値:99.1% 【事業予定期間等】 期間 R3~R7		R3	○実施中 収納率 【目標値】 99.1% 【実績値】 97.8% 令和3年4月からスマホ決済を開始
		R4	○実施中 収納率 【目標値】 99.1% 【実績値】 97.9%
		R5	○実施中 収納率 【目標値】 99.1% 【実績値】 92.9%

(2) 経営基盤の強化

施策	内容	計画目標	実施状況
① スtockマネジメント計画の策定(管路、ポンプ場)			
<p>下水道施設の効率的で持続可能な管理のため、目標とする明確なサービス水準を定め、長期的な施設の状態を予測しながら、点検・調査・修繕・改築を一体的に捉えて下水道施設を管理するStockマネジメント計画を策定し、実施します。</p>			
	Stockマネジメント計画策定 R3目標値:計画策定 (ポンプ場) 【事業予定期間等】 期間 R3～R5 事業費 176.5百万円	R3	○実施中 Stockマネジメント計画策定 【目標値】計画策定(ポンプ場) 【実績値】未策定 交付金事業:大村処理区管路施設Stockマネジメント実施方針策定 業務委託ほか (事業費 102,619千円)(翌年度繰越含む)
		R4	○実施中 Stockマネジメント計画策定 【目標値】計画策定(処理場) 【実績値】計画策定(ポンプ場) 交付金事業:大村処理区ポンプ場Stockマネジメント実施計画策定 業務委託ほか (事業費 21,885千円)(翌年度繰越含む)
		R5	○実施中 Stockマネジメント計画策定 【目標値】計画策定(管路) 【実績値】計画策定 処理場・管路 交付金事業:大村処理区管路施設Stockマネジメント実施計画策定 業務委託ほか (事業費 20,458千円)
② 更新需要の増大に備えた資金の確保			
<p>職員の不断のコスト意識と節減努力、維持管理コストや建設コストの低減の検討、企業債残高水準の適正管理、投資計画と財政計画の調和を図り、計画的な更新資金の確保に取り組みます。</p>			
	企業債残高 R7目標値: 9,172百万円 補填財源残高 R7目標値: 1,631百万円 【事業予定期間等】 期間 R3～R7	R3	○実施中 企業債残高 【目標値】 11,654百万円 【実績値】 11,716百万円 補填財源残高 【目標値】 1,405百万円 【実績値】 2,003百万円
		R4	○実施中 企業債残高 【目標値】 11,029百万円 【実績値】 11,075百万円 補填財源残高 【目標値】 1,381百万円 【実績値】 2,152百万円
		R5	○実施中 企業債残高 【目標値】 10,411百万円 【実績値】 10,389百万円 補填財源残高 【目標値】 1,413百万円 【実績値】 2,310百万円

③ 技術力継承・向上

「大村市上下水道局人材育成基本方針」に基づき各種研修へ積極的に参加させ職員の技術力向上を図るとともに、職者の再任用制度を活用し技術力の継承に努めます。

各種研修等参加人数
目標値: 毎年24人
【事業予定期間等】
期間 R3～R7
事業費 13.5百万円

R3 ○実施中
各種研修等参加人数
【目標値】 24人 【実績値】 5人
下水道事業経営実務講習会ほか（事業費 151千円）

R4 ○実施中
各種研修等参加人数
【目標値】 24人 【実績値】 22人
下水道技術職員養成講習会ほか（事業費 1,496千円）

R5 ○実施中
各種研修等参加人数
【目標値】 24人 【実績値】 18人
下水道技術職員養成講習会ほか（事業費 1,920千円）

④ 汚水処理の最適化

★新規

老朽化する農業集落排水処理施設の維持管理・更新に係るトータルコストの縮減を図るため、農業集落排水事業区域を公共下水道へ統合し、汚水処理の最適化を進めます。

統合率(整備率)
R7目標値: 42.9%
【事業予定期間等】
期間 R3～R7
事業費 211.7百万円

R3 ○実施中
統合率(整備率)
【目標値】 0.0% 【実績値】 0.0%
交付金事業: 荒瀬町(萱瀬下地区)汚水管切替実施設計業務委託ほか
(事業費 20,000千円)(翌年度繰越含む)

R4 ○実施中
統合率(整備率)
【目標値】 14.3% 【実績値】 0.0%
交付金事業: 宮代町(萱瀬地区)汚水管切替実施設計業務委託ほか
(事業費 45,000千円)(翌年度繰越含む)

R5 ○実施中
統合率(整備率)
【目標値】 28.6% 【実績値】 0.0%
交付金事業: 農集統合(萱瀬下地区)接続汚水管布設工事
(事業費 38,000千円)(翌年度繰越含む)

⑤ 広域化の検討

★新規

下水道事業の処理費用の負担軽減を目的とし、長崎県の研修会等に参加し、検討を行います。

【事業予定期間等】
期間 R3～R7

R3 ○実施中
ながさき下水道等連携協議作業部会等への参加

R4 ○実施中
ながさき下水道等連携協議作業部会等への参加

R5 ○実施中
ながさき下水道等連携協議作業部会等への参加

計画財政収支状況

①収益的収支(税抜き)

(単位:千円)

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
		計画との比較		計画との比較		計画との比較		
収益合計 A	(2,930,901)	△ 0.9%	(2,998,377)	8.2%	(2,865,678)	3.9%		
	2,956,433		2,772,131		2,757,431		2,761,539	2,714,581
営業収益	(1,882,329)	△ 1.5%	(1,854,179)	2.2%	(1,857,792)	2.4%		
	1,911,430		1,814,323		1,814,089		1,814,537	1,807,439
料金収入	(1,692,608)	△ 0.8%	(1,691,715)	2.1%	(1,695,671)	2.0%		
	1,705,970		1,657,570		1,662,364		1,667,158	1,671,991
一般会計負担金	(172,905)	△ 7.6%	(145,294)	5.1%	(143,683)	7.9%		
	187,185		138,216		133,188		128,842	116,911
その他	(16,816)	△ 8.0%	(17,170)	△ 7.4%	(18,438)	△ 0.5%		
	18,275		18,537		18,537		18,537	18,537
営業外収益	(1,043,851)	△ 0.1%	(1,142,810)	19.3%	(1,007,886)	6.8%		
	1,045,000		957,808		943,342		947,002	907,142
一般会計補助金	(330,593)	4.5%	(382,115)	2.6%	(373,441)	5.0%		
	316,314		372,602		355,553		341,545	304,772
長期前受金戻入	(706,395)	△ 2.1%	(753,249)	30.2%	(627,176)	7.9%		
	721,399		578,583		581,166		598,834	595,747
その他	(6,863)	△ 5.8%	(7,446)	12.4%	(7,269)	9.8%		
	7,287		6,623		6,623		6,623	6,623
特別利益	(4,721)	157266.7%	(1,388)	-	(0)	-		
	3		0		0		0	0
費用合計 B	(2,489,194)	△ 4.4%	(2,441,137)	△ 3.8%	(2,319,118)	△ 8.0%		
	2,603,191		2,536,625		2,520,468		2,548,593	2,544,187
営業費用	(2,281,175)	△ 4.0%	(2,256,673)	△ 4.2%	(2,151,854)	△ 8.8%		
	2,375,484		2,355,459		2,360,732		2,408,162	2,420,359
職員給与費	(111,929)	△ 3.6%	(111,690)	△ 4.4%	(110,202)	△ 6.4%		
	116,167		116,795		117,695		118,603	119,516
経費	(825,635)	△ 8.1%	(803,992)	△ 10.0%	(664,674)	△ 24.7%		
	898,799		893,118		883,089		893,039	908,936
減価償却費	(1,343,611)	△ 1.2%	(1,340,991)	△ 0.3%	(1,376,978)	1.3%		
	1,360,518		1,345,546		1,359,948		1,396,520	1,391,907
営業外費用	(206,055)	△ 8.8%	(182,895)	1.9%	(165,710)	4.9%		
	225,840		179,403		157,973		138,668	122,065
支払利息	(199,860)	△ 3.6%	(178,849)	1.2%	(161,191)	3.8%		
	207,234		176,699		155,269		135,964	119,361
その他	(6,195)	△ 66.7%	(4,046)	49.6%	(4,519)	67.1%		
	18,606		2,704		2,704		2,704	2,704
特別損失	(1,964)	5.2%	(1,569)	△ 11.0%	(1,554)	△ 11.9%		
	1,867		1,763		1,763		1,763	1,763
純損益(△損失)	(441,707)	25.0%	(557,240)	136.6%	(546,560)	130.7%		
	353,242		235,506		236,963		212,946	170,394

②資本的収支(税込み)

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
		計画との比較		計画との比較		計画との比較		
資本的収入 C	(772,253)	△ 19.1%	(1,369,744)	31.3%	(943,793)	△ 3.2%		
	954,634		1,042,885		974,633		731,661	895,470
企業債	(263,500)	△ 24.8%	(530,100)	22.4%	(377,900)	△ 6.1%		
	350,500		433,090		402,290		280,525	362,145
一般会計補助金	(103,526)	0.0%	(99,029)	△ 14.3%	(93,676)	△ 14.0%		
	103,526		115,620		108,968		109,526	110,095
負担金	(39,800)	△ 42.8%	(50,091)	△ 18.0%	(23,917)	△ 60.8%		
	69,605		61,082		61,082		61,082	61,082
交付金	(365,427)	△ 15.2%	(690,524)	59.4%	(448,300)	11.4%		
	431,000		433,090		402,290		280,525	362,145
その他	(0)	△ 100.0%	(0)	△ 100.0%	(0)	△ 100.0%		
	3		3		3		3	3
資本的支出 D	(1,996,825)	△ 18.7%	(2,562,013)	11.6%	(2,213,902)	2.1%		
	2,456,258		2,295,498		2,168,881		1,795,029	1,923,731
建設改良費	(926,259)	△ 32.5%	(1,504,552)	21.6%	(1,200,711)	4.5%		
	1,372,410		1,237,400		1,149,400		801,500	1,034,700
企業債償還金	(1,070,566)	△ 1.2%	(1,057,461)	△ 0.1%	(1,013,191)	△ 0.6%		
	1,083,848		1,058,098		1,019,481		993,529	889,031
不足額 (C-D)	(1,224,572)	△ 18.5%	(1,192,269)	△ 4.8%	(1,270,109)	6.4%		
	1,501,624		1,252,613		1,194,248		1,063,368	1,028,261
補填財源残高	(2,003,443)	42.6%	(2,151,996)	55.8%	(2,310,218)	63.5%		
	1,405,304		1,381,585		1,413,009		1,504,978	1,631,696
企業債残高	(11,715,675)	0.5%	(11,075,069)	0.4%	(10,389,023)	△ 0.2%		
	11,653,159		11,028,151		10,410,960		9,697,956	9,171,070

※上段()書きは決算値、下段は、計画値

※資本的収支の実績額は、前年度からの繰越額を含まず、翌年度繰越額は含める。

※補填財源の決算値は建設改良積立金など使途が特定されている資金を含む。